

すずおとめ 暖地での栽培に適した良質小粒種。

1 加工適性

(1) 加工上の長所・短所

小粒で納豆加工適性に優れています。

(2) 育成場所における品質に関するデータ（7月播種）

項 目	すずおとめ	納豆小粒(比較)
粒大	小	小
百粒重(g)	10.3	11.1
粒型	球	球
粗蛋白質含有量(%)	42.6	42.0
粗脂肪含有量(%)	19.6	19.6

注) 天候不良の平成11年を除いた8年～13年の生産力検定試験結果。
タンパク質ならびに脂質は近赤外分析による。
タンパク質含有率は子実の窒素含有率に6.25を乗じて算出。

(3) 納豆加工適性試験成績

加工試験（熊本県M社 平成8年育成地産）

項 目		すずおとめ	納豆小粒(比較)
浸漬大豆	重量増加比(乾物当り比)	2.44	2.45
	溶出固形物率(%)	0.70	0.97
蒸煮大豆	重量増加比(乾物当り比)	2.34	2.34
	皮浮き・煮崩れ(%)	4.0	7.0
	硬さ(g)	107	130
納豆	硬さ(g)	100	132

硬さ：レオメーターで測定（レンジ200g、テスト速度5cm/min）

官能試験（熊本県M社 平成8年育成地産）

項 目	すずおとめ	納豆小粒
菌の被り	4	4
溶菌状態	4	4
割れ・つぶれ	4	3
豆の色	4	4
香 り	4	3
硬 さ	2	1
味	4	2
糸引き	3	3
合 計	29	24

注) 評価は5段階評価（1～5）で値の大きい方がよい。

2 栽培特性

(1) 栽培上の長所・短所

長所：「フクユタカ」より2週間程度早生で、麦との二毛作体系により適しています。

短所：「フクユタカ」より低収です。

(2) 育成場所における栽培特性に関する試験結果（7月播種）

項目	すずおとめ	納豆小粒
収量*(kg/10a)	329	348
早晩性	中の晩	中の晩
コンバイン収穫適性		
裂莢性	やや難	中
耐倒伏性	強	やや強
最下着莢節位*(cm)	14.0	9.0
病害抵抗性		
ウイルス病 ほ場抵抗性	強	中
紫斑病 抵抗性	強	中
ネコブセンチュウ 抵抗性	弱	弱

注) *天候不良の平成11年を除いた8年～13年の生産力検定試験結果。

他は、試験結果を「だいでず特性審査基準」に基づいて分類。

3 栽培地域（平成21年産）

愛知県 2ha 三重県 41ha 福岡県 70ha 佐賀県 5ha

熊本県 32ha 大分県 16ha

4 栽培上の留意点

- 1) 耐倒伏性程度は「強」ですが、極端な密植、早播きは避けて下さい。
- 2) 紫斑病抵抗性は「強」ですが、暖地ではやや早生の品種なので紫斑病発生がよく見られる地域では適期の防除を行って下さい。
- 3) ネコブセンチュウ抵抗性は「弱」なので、発生ほ場への作付けを避け、適正な輪作のもとで栽培して下さい。

育成場所：九州沖縄農業研究センター（平成14年育成）
問い合わせ先：九州沖縄農業研究センター
大豆育種研究九州サブチーム tel：096-242-7740